

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

| 分野                 | 景気の先行き判断        | 業種・職種  | 景気の先行きに対する判断理由   |
|--------------------|-----------------|--|--|
| 家計動向<br>関連<br>(沖縄) | -               | -  | -  |
|                    |                 | 百貨店（店舗企画）  | ・9月から10月にかけて化粧品売場を中心に改装があり、地元客やインバウンド客の動員が見込める。  |
|                    |                 | スーパー（企画担当）   | ・クーポン施策による新規客の創出で売上増が見込める。   |
|                    |                 | コンビニ（経営者）  | ・飲料水や酒類と一緒に総菜やファーストフードを買う客が増えた。  |
|                    |                 | 観光型ホテル（代表取締役）  | ・もともと沖縄の観光客数は、夏に向かって伸びる。予約数を見て平均の予測がみえる。今月前の状況からすると良くなる。   |
|                    |                 | 通信会社（店長）   | ・9月に話題性のある新商品の販売が予想されるので、落ち込んでいる販売量が回復傾向になると期待している。客数も増えるので提案で他商材の販売も見込んでいる。                       |
|                    |                 | 住宅販売会社（営業担当）   | ・消費税の引上げへ向けて住宅商談件数が伸びていることから、今後の見通しはやや良くなる。  |
|                    |                 | コンビニ（代表者）  | ・県民の購買意欲も高めで推移している。また、観光の好調な状況に支えられ安定して推移すると考える。   |
|                    |                 | 衣料品専門店（経営者）  | ・今月は月初めは良い感じで始まったが、月の中旬からセール待ちの客が増えているようで、また来月に期待したい。  |
|                    |                 | その他専門店〔書籍〕（店長）   | ・夏の繁忙期に入るが、例年と比べ特に大きく変わる要因は見当たらない。   |
|                    |                 | 観光型ホテル（マーケティング担当）  | ・現段階の予約状況から推測できる今後2～3か月先の客室稼働率も、今月同様に前年同月実績を下回る見込みである。   |
|                    |                 | 旅行代理店（マネージャー）  | ・予約数などは現状維持といったところであるが、少し上向きになればと期待はしている。  |
|                    |                 | 観光名所（職員）   | ・はしか終息宣言が遅く、夏休みの客は沖縄以外の方面に予約が多いという情報が航空会社と旅行会社からあった。   |
|                    |                 | その他サービス〔レンタカー〕（営業）   | ・当社と同業他社の先行予約状況が前年並みである。   |
|                    | 住宅販売会社（代表取締役）   | ・現場代理人や下請会社のキャパシティも限られており、これ以上の工事受注は難しい。   |  |
|                    | 商店街（代表者）        | ・物販関連の店は大変厳しい状況下にあり、閉店するとそこは飲み屋に変わる。飲食客と物販客の落差があり、商店街は今後どうなるか何とも言えない状況が続いている。  |  |
|                    | その他飲食〔居酒屋〕（経営者） | ・これから繁忙期に入るが、大変な求人難が続いている。シフトが回せず、店休日を取って対応している。ピーク時も人手が足りず、入店規制をしている状態で、機会損失を起こしている。時給だけがどんどん上がっているため、売上でカバーできていない。 |  |
|                    | x               | -  | -  |
| 企業動向<br>関連<br>(沖縄) |                 | 輸送業（経営企画室）   | ・はしかもあり観光客のキャンセルも相次いであったと報道されていたが、観光客の数も前年比で連続で増加している。物流の観点から見ても観光客の増加が消費の増加につながるため、今後の景気上昇が期待される。 |
|                    |                 | 窯業・土石製品製造業（経営者）  | ・ホテル、アパート建設など民間工事が継続の見通しである。   |
|                    |                 | 建設業（経営者）   | ・契約前の申込件数が増加傾向にある。   |
|                    |                 | 食品製造業（総務）  | ・消費者の安値商品への志向が、段々と以前のように強まっている印象がある。特売志向である。   |
|                    |                 | 輸送業（代表者）   | ・宮古島、石垣島は、観光客対応のホテルや量販店の民間工事が多く、特に宮古島は陸上自衛隊関連の建設工事も本格化しているため、生コンの出荷は増大している。アスファルト向けの出荷も上向きつつある。    |
|                    |                 | 広告代理店（営業担当）  | ・一部の民間企業の競争環境が、県外企業の参入により厳しさを増している。その結果収益が厳しくなり販促投資も伸び悩んでいる。                                       |
|                    | -               | -  | -  |
|                    | x               | -  | -  |
| 雇用<br>関連<br>(沖縄)   |                 | -  | -  |
|                    |                 | -  | -  |
|                    |                 | -  | -  |
|                    |                 | 人材派遣会社（経営者）  | ・現在、好調に推移しているが、以前からいわれている人材不足が更に強くなっており、派遣も人材の確保に苦労している。そのため数字に転化して大きく伸びることはない。                    |
|                    |                 | 人材派遣会社（総務担当）   | ・県内景気は良い状態が続いているが、依然として人手不足感があり、一層の景気拡大までには至らず変わらないとみられる。  |
|                    |                 | 求人情報誌製作会社（営業担当）  | ・5月の求人倍率は1.12倍であった。1倍を超えており、今後も企業側は採用に苦戦するだろう。   |

|   |                    |  |
|---|--------------------|--|
|   | 求人情報誌製作会社<br>(編集室) | ・毎年6～8月にかけて求人件数は減少傾向にあり、今年も例年同様、増えることはないと思われる。   |
|   | 学校[大学](就職担当)       | ・新卒求人の状況から、初任給アップなどの雇用条件の変化を感じる。業績好調との見方もできるが、単に人材不足によるベースアップとなっていないかなど心配な点もある。いずれにせよ現時点よりも景気が悪くなるような雰囲気は感じられない。 |
|   | -                  | -  |
| x | -                  | -  |